

表18 24時間尿クレアチニン推定値

推定式変数	24H測定値	早朝尿からの推定値				
		Tanaka	Mage	Moriyama		Kawasaki
		体重身長 年齢	体重身長 年齢	体重のみ	体重身長	体重身長 年齢
男性 N = 23	1087±320	1092±295	1072±281	1453±467	1455±481	1717±244
p値		0.94	0.32	<0.01	<0.01	<0.01
相関係数		0.36 (0.09)	0.55(<0.01)	0.29 (0.17)	0.29 (0.18)	0.33 (0.13)
男BMI<30		1049±216	1028±193	1380±317	1380±327	1680±172
		0.52	0.33	<0.01	<0.01	<0.01
*n=22		0.52 (0.02)	0.52 (0.01)	0.46 (0.03)	0.45 (0.03)	0.49 (0.02)
女性 N = 35	959±177	987±189	909±163	1067±192	1070±171	1080±89
p値		0.32	0.08	<0.01	<0.01	<0.01
相関係数		0.58(<0.01)	0.55(<0.01)	0.50(<0.01)	0.52(<0.01)	0.56(<0.01)

24時間測定値との 対応のあるt検定とピアソン相関係数(P値)。

\*BMI>30の1例を除いた場合のピアソン相関係数(P値)。

表19 回帰式(全投入)

	回帰係数	標準誤差	P値
切片	-114	115	0.324
早朝尿Na濃度(mmol/L)	0.0156	0.00842	0.071
K濃度(mmol/L)	-0.0587	0.0251	0.023
クレアチニン濃度(mg/dL)	-0.0058	0.00955	0.547
尿素窒素濃度(mg/L)	0.00093	0.00152	0.543
身長(cm)	0.128	0.0761	0.099
体重(kg)	-0.04	0.0504	0.431
二次性徴発現(有)	-1.26	0.857	0.245
性別(女)	1.22	1.37	0.163
月齢(月)	1.19	1.37	0.387
月齢x月齢(月)	-0.0035	0.00402	0.388
身体活動時間(分)	0.0014	0.00095	0.146

表20 性別・二次性徴発現・身体活動時間の交互作用を含めた回帰式(ステップワイズ)

	回帰係数	標準誤差	P値
切片	7.36	1.52	<.001
早朝尿Na濃度,mmol/L	0.0194	0.00692	0.007
K濃度, mmol/L	-0.0508	0.0189	0.01
性別(女)x身体活動時間(分)	0.00108	0.000499	0.034

厚生労働科学研究費補助金

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

日本人の食塩摂取量減少のための生体指標を用いた食事評価による

食環境整備に関する研究

平成 23～25 年度 総合研究報告書

2014 年 3 月 31 日 発行

東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学

佐々木 敏

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5841-7872、FAX：03-5841-7872

